

# 中栄信用金庫と地域社会

『共生』～企業・住民と共に生きる～

## 地域密着型金融の取り組みについて

中栄信用金庫は、平成15年4月から平成17年3月に実施した「リレーションシップバンキングの機能強化計画」ならびに平成17年4月から平成19年3月において実施した「地域密着型金融推進計画」を通して、地域社会への貢献のためには引き続き地域密着型金融の推進が

重要であると考え、平成19年度以降も役員一丸となって一層の地域密着化を通じて、地域の皆さまのお役に立ち、お客様に必要とされる信用金庫となるため、新たな「地域密着型金融推進計画」を策定のうえ継続して実施しております。

### 文化的・社会的貢献

講演会、お祭り、献血活動、寄付活動、ロビー展、ゲートボール大会……。今までもこれからも、地域社会に貢献できる活動を積極的に行なっております。

### 中栄信用金庫

常勤役員数 **291**人  
店舗数 **15**店舗  
会員数 **15,014**人  
出資金残高 **1**億円

店舗網については、本誌の53ページをご覧ください。

### 取引先への支援等

当金庫では、低迷の続く地域経済のなか、経営不振にご苦労されるお客様に親身になって相談し、業績や財務内容について一歩踏み込んだ分析を行い、打開のための改善策、経営改善計画へのアドバイスなど、金銭面だけでなく生きた支援を心がけております。

預金積金

出資金

貸出金

支援サービス

地域のお客様・会員の皆さま

地域のお客様・会員の皆さま

### 預金積金に関する事項 (地域からの資金調達の状況)

当金庫は、地域のお客様の着実な資金づくりのお手伝いをさせていただくため、便利な商品、サービスの一層の充実に向けて努力しております。

また、お客様の大切な財産の運用を安心してお預けいただけるよう各種預金を取り揃えております。なお、当金庫で取扱っている商品については、本誌の28ページをご覧ください。

預金積金残高 **3,527**億円

### 貸出以外の運用に関する事項 ※余裕資金の運用について

余裕資金については、預け金や有価証券等により運用しております。預金の順調な増加を背景に、運用残高は前期比224億円増加いたしました。預け金は主に信金中央金庫への定期預金として、有価証券は債券を中心にリスクの少ない安全な運用に努めております。

余裕資金運用残高 **2,373**億円

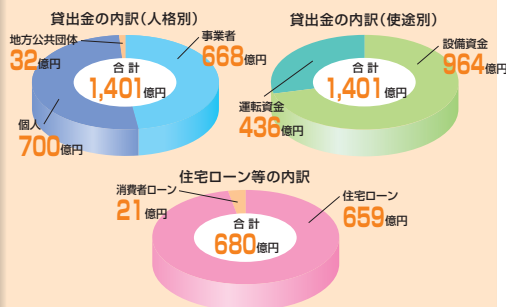
### 貸出金(運用)に関する事項 (地域への資金供給の状況)

お客様からお預入れいただいた預金積金につきましては、お客様の幅広い資金ニーズにお応えし、地元中小企業や個人の皆さまに健全な発展や豊かな暮らしのお手伝いをすることを使命として、円滑な資金の供給を行うことにより、お客様や地域社会へ還元をしております。

当金庫で取扱っている商品については、本誌の29ページをご覧ください。

貸出金残高 **1,401**億円

預金積金に占める貸出金の割合 **39.72%**



## 1 地域活性化のために

次代を担う若手・後継経営者・経営幹部の方々に経営を体系的に学んでいただける「なかしん経営塾」を開催しています。平成22年3月10日より開講した第2期では、より実践的内容にするため、革新的な技術を持つ中小企業視察や宿泊勉強会のほか、地域の専門家(税理士や弁護士等)を招きタイムリーで役立つ情報を提供する実務セミナーを取り入れたカリキュラムとなっています。

## 2 お取引先の皆さまに更なる情報サービスを提供するために

当金庫では、中小企業診断士による無料経営相談会、弁護士による無料法律相談会、税理士による無料税務相談会を実施しております。

おかげさまで、平成22年度は右表の通り経営相談12件、法律相談16件、税務相談11件のご利用実績がございました。

経営相談 (随時実施)	法律相談 (偶数月実施)	税務相談 (奇数月実施)
12件	16件	11件

## 3 営業地区内で事業をなされている方への資金調達のお手伝いについて

営業地域内で事業を営まれている法人・個人事業主の方を対象に担保や保証に過度に依存することのない融資商品の拡充に努めております。平成19年9月に発売した「サポートローン」に続き平成22年4月より「創業支援ローン」、「税理士ご紹介ローン」の取扱いを開始いたしました。引き続きお客様のニーズにあった商品開発に努めてまいります。

## 4 経営改善支援等の取り組み実績について

当金庫は、営業地区における企業・住民と共に生きる「共生」をモットーに、お取引先の経営改善に取り組んでおります。なお、平成22年度における実績は下記のとおりであります。

平成22年4月～平成23年3月

(単位：先数)

注	初期債務者数	うち経営改善支援取組み先数	αのうち期末に債務者区分がランクアップした先数	αのうち期末に債務者区分が変化しなかった先数	αのうち再生計画を策定した先数	経営改善支援取組み率	ランクアップ率	再生計画策定率	
									A
正常先 ①	1,159	0	0	0	0	0.0%	-	-	
要注意先	うちその他 ②	488	13	0	13	6	2.6%	0.0%	46.1%
	うち ③	1	0	0	0	0	0.0%	-	-
破綻懸念先 ④	40	2	0	2	2	5.0%	0.0%	100.0%	
実質破綻先 ⑤	25	3	0	3	1	12.0%	0.0%	33.3%	
破綻先 ⑥	5	0	0	0	0	0.0%	-	-	
小計 (②～⑥の計)	559	18	0	18	9	3.2%	0.0%	50.0%	
合計	1,718	18	0	18	9	1.0%	0.0%	50.0%	

(注) ●期初債務者数及び債務者区分は22年4月初時点での整理。  
●債務者数、経営改善支援取組み先は、取引先企業(個人事業主を含む。)であり、個人ローン、住宅ローン等の先は含めておりません。  
●βには、当期末の債権者区分が期初よりランクアップした先数を記載。  
●αには、経営改善支援取組み先で期中に完済した債務者はαに含めるもののβに含めておりません。  
●期初に存在した債務者で期中に新たに「経営改善支援取組み先」に選定した債務者については(仮に選定時の債務者区分が期初に債務者区分と異なっていたとしても)期初に債務者区分に従って整理。  
●期中に新たに取引を開始した取引先については本表に含めておりません。  
●γには、期末の債務者区分が期初と変化しなかった先数を記載。  
●みなし正常先については正常先の債務者数に計上。  
●「再生計画を策定した先数δ」=「中小企業再生支援協議会の再生計画策定先」+「RCCの支援決定先」+「金融機関独自の再生計画策定先」